

かしこく
やさしく
たくましく

宝島だより

<http://www.toshima-sc.net/takara/>

十島村立宝島小・中学校
児童・生徒数 23名
学校だより 11月号
令和3年11月17日発行

文化芸術の秋 ～宝の夢文化祭～

校長 下村 尚

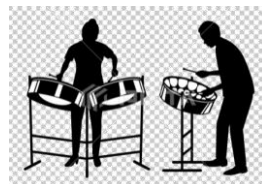
二十四節気の一つ「立冬」を過ぎ、朝夕に吹く風も少しずつ肌寒さを感じ、登校する児童生徒と話をすると、「朝起きたときに、布団から出たくない！」という言葉も聞かれ、秋の深まりをこの宝島でも感じるこの頃です。

11月1日からは、「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」で、日頃の学校の様子を自由に参観していただく機会となりました。また、ゲストティーチャーを招いて、日頃知るこのできない貴重なお話や体験をする機会にもなりました。

11月7日(日)に開催しました「宝の夢文化祭」。コロナ禍において2回目の実施となり、感染防止対策にも工夫改善を加えながら、「心を合わせ 仲間と共に 新たな道へ 光輝け 宝島」のスローガンを掲げ、島民一体となって取り組みました。

小・中学生は、日頃から取り組んでいる学習内容について、学年の発達段階に合わせて工夫し、素晴らしい発表をすることができました。いまさら園の子供たちは、体育館での練習が限られた中ではありましたが、体全体を使い、お友達と呼吸を合わせながら愛らしいオペレッタを披露してくれました。

地域の方々の発表では、楽器演奏や歌の発表、宝島の魅力スティーロパンの演奏等、日々の忙しい業務の合間をぬって練習に励み、文化祭に華を添えてくださいました。また、今年度は、「トカラ観音三線会」が再結成され、「トカラ観音主」の披露がありました。会場後方には展示発表があり、島民のみなさま方の貴重な品々を拝見することができました。宝島で取り組まれている貴重な文化芸術を、この文化祭の機会だけではなく、様々な機会に披露できる場を模索していきたいものです。



2学期も残り少なくなってきました。昨年流行しなかったインフルエンザですが、「今年はインフルエンザが流行する」とも言われています。昨年以上に感染症拡大防止に気をつけながら教育活動を進めていきますので、御理解・御協力のほどよろしくお願いたします。



「書くことは宝なり」From 校長室

「小さな親切」作文コンクールにおいて、小学6年生の向井彪悟さんが「優良賞」を受賞しました。この作文コンクールは、児童・生徒が、「したこと」「してもらったこと」などの親切体験を書くことによって、親切な心を育み、豊かな心情を深めることをねらいとしています。彪悟さんは、東京で歯医者に通っていたとき、うっかりマスクを忘れてしまい、院内に入らずに困っていたところ、順番待ちをしていたおばあさんがマスクを差し出してくれました。そのおばあさんの親切にふれたときの思いを作文にしました。



芸術の秋！「宝の夢」文化祭

11月7日、「宝の夢」文化祭が実施されました。新型コロナ対策を万全にし、子どもたちはふだんの学習の成果の発表の場として、劇や教科の発表、マーチング、リコーダー、スティールパンの演奏などを堂々で行いました。また、いまきら園の子どもたちによるオペレッタや鍵盤ハーモニカの演奏と歌は、かわいらしさが輝いていました。島民の方々は忙しい毎日の中で練習の時間を見だし、スティールパンやバンド、管楽器、ピアノなどのすばらしい演奏が会場に響き、聴く人たちを魅了しました。また、「トカラ観音主」では、平田伊佐美さん、平田豊美さんのお二人による掛け合いと三線の音色、最後は六調で大いに会場が盛り上がりました。昨年に引き続き、宝島や十島の島々の大自然をドローンを使って上空から撮影した映像は、さらに迫力を増し、改めてトカラ列島の美しさを知る機会になりました。さらに、展示発表においてもさまざまなジャンルの作品が集まり、内容、質感ともにグレードアップした印象でした。下記は、アンケートのコメントの一部です。



・昨年よりも一つ一つのプログラムに工夫があり、とても見応えがあった。・子供たちの一生懸命が伝わってきて感動した。・島民の方々の参加によるステージがとてもよかった。来年は観るだけではなく、参加する側になってみたい。・「トカラ観音主」、ぜひ来年も聴かせてください。・ドローン映像、特に、としま2の入港風景は圧巻でした。・展示の作品、どれも丁寧に仕上げられており、楽しく観ることができました。・鳥や魚の写真とリポートは見事でした。

島民のみなさま方のご協力に対しまして、改めてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



今年もおいしい黒糖ピーナッツができました！

4月の落花生の種まきから除草作業や追肥、黒糖をまぶしての調理、袋詰めまでと完成までは長い道のりでした。今年はなんと昨年にくらべて1kgも多く落花生を収穫することができました。その理由として、「畝を2つ増やしたこと」「除草の回数を5月と10月の2回実施したこと」が挙げられます。

子どもたちが感謝の気持ちを含めて作った黒糖ピーナッツ、きっと喜んでいただけるものと思います。



12月の主な行事予定

- 4日(土)子ども会クリスマス会
- 7日(火)授業参観・PTA・心の教育の日
- 8日(水)島内一周駅伝試走
- 11日(土)トカラ集会(小宝島) 避難訓練

- 12日(日)島内一周駅伝大会
- 14日(火)山海留学育成会
- 17日(金)小学校入学説明会
- 21日(火)眼科・皮膚科検診
- 24日(金)終業式 大掃除

